

「SORAデザイン」がつくった
八代市在住 / Nさんの住まい

寄り添ったのは人の気持ち。 思いを包み込む包容力のある家

情趣あふれる商店街を抜けた先に
辿りついたのは、由緒あるお寺。
奥さまのご実家であるこのお寺の境内に
2世帯が暮らす新居を構えたNさんご家族。
さて、その住み心地はいかに。



中庭を囲んで左手にご夫妻、右手にご両親の玄関を設け「口」の字型に回遊するつくりが特徴的なN邸。2世帯住宅のイメージを覆す設計は「SORAデザイン」の真骨頂

中庭越しに見えるリビングは
まるで縁側のように人を和ませる



プライベート空間へと誘う長方形の玄関土間。N邸のプライベートとオフィシャルの境界線はここにある



新築ながら、周囲の雰囲気になじむように建つN邸の外観

北欧インテリアに馴染む 自然体の暮らしをデザイン

6年前、ご主人の出身地である福井県から帰郷したというNさんご夫妻。現在は、3人の息子たち、奥さまのご両親との7人暮らし。奥さまの実家である熊本に戻ると同時に新居の話が持ち上がると、雑誌で見た「SORAデザイン」の家にご夫婦そろってピンと来たのだとか。

「私の好きな北欧家具とも相性のいい、どこか温かみのある自然体のデザインは『ゴコ!』と即決でした」と語る奥さま。さ

らに、奥さまのご実家は伝統あるお寺。「もちろん、私たち好みの家を作りたいと願ってSORAデザインに家づくりをお願いしたんですが、やはり第二条件はお寺の雰囲気合う見た目でした」と話すご主人。「それらを制約」ととらえるどころか、何倍にも可能性を膨らませた提案をいただいた時には、その発想に感動さえました。さまざまなお話で当初の案は実行できなかったのですが、それでも私たちの意をきちんと汲んで取り入れてくださった今の家にはとても満足してるよね」と顔を見合わせるNさんご夫妻。

2階のご主人の書斎の窓から見下ろす境内の借景。境内で遊ぶ子どもたちの姿がどこか絵のように美しい





「SORAデザインは会社の社風なのか、お客様とビルダーという関係性を越えて、長く付き合っている雰囲気がいいですね」とご主人

時間を忘れてしまうほど心地よさに包まれた空間。



2015年の10月に完成したばかりのN邸。部屋の端々に顔を覗かせる愛らしい雑貨たちは、奥さまがこの日を夢見て大切にしまっていたものばかり



青空ランチや即席美容院など、発想次第で可能性の広がる中庭



大分県日田市で開かれた展示会で出会ったというシステムキッチン、まさに理想的なデザインだったとか



私の好きな場所

【キッチン】

広いステンレスの天板に、優しい木目のボディのシステムキッチンは、大好きな雑貨とも相性抜群!



大容量のキッチン背面の収納は奥さまも大絶賛。木とステンレスの組み合わせでインテリア性の高い収納に



並べて、愛でて、時々使って。思わず笑顔がこぼれるキッチン。

元々使っていたものだというおふたりのセンスの光る照明は、どれも美しいフォルムのものばかり

奥さまの長年の夢を叶えたお気に入りの並ぶリビング

奥さまの趣味だという北欧雑貨で彩られたリビングは、ご夫妻のお気に入り。「私は幼い頃から人が出入りする環境で育ちました。昔ながらのつくりの家は、プライベートなんてないのが当たり前でした。だから、新居は私の大好きな世界観にあふれた空間にしたかったんです」とうれしくて仕方がない様子の奥さま。来客のある日には、コレクションが並ぶキッチンの飾り棚からカップを選ぶ瞬間が何よりも癒されるそう。「新居に越してからは花のある空間の魅力を再発見しています」と奥さま。

Nさん一家のお寺は別名「花の寺」の異名を持つほど、花が咲き誇るお寺だったそう。「昔から母はどんなに忙しくても、境内のお花の手入れだけは欠かすことがなかったんです。今は花も少ないですが、これからは少しずつ私が手入れしていきたいいな」と、呟く奥さまの言葉に家族への思いが滲む。

内と外を緩やかに繋ぐ 中庭は現代版の縁側

Nさんご夫婦がその存在に目を見張るのは、家の中心にある中庭。「家のどこに居ても光が射して、明るくて気持ちいいんです」とご主人。「人の出入りの多いわが家にはピッタリでした」とも。というのも、N家にとってこの中庭は、内と外の曖昧な空間である縁側のような存在だ。閉鎖的すぎないつくりは、家族も訪れる人も、互いに気兼ねなく関係性を深めていくことができる。「2世帯での暮らしも中庭を介して空気感を共有する程よい距離感で暮らせます」と新居の住み心地は上々のようだ。「天気の良い日、中庭でランチを食べたのも気持ちよかったね!」とご主人は無邪気に笑う。

続けて「そうそう」と奥さまが話してくれたのは、雨の日の快適さ。「この地域は高温多湿な環境で、以前は湿度との戦いでした。こんなにも雨の日を快適に過ごせることに驚きました」。



いつの日かこんな景色を
兄弟で懐かしむ日が来るのだろう

中庭越しに見るリビングは、まさに温かい
家族の風景そのもの。この空気を感じなが
ら家族の新しい日々は育っていくのだろう



「基本的に僕はインドア派なので(笑)、
書齋で趣味に浸ったり、リビングでゆっ
たりしている時間が幸せです」とご主人



それぞれに専用のスペースを作ってい
るらしいロフト空間は、子どもたちの想
像力を掻き立てる大切な隠れ家



無限の想像力を働かせて遊ぶ
子どもたちだけの秘密基地



N邸のお風呂はなんと温泉!
グッとシックにまとめた浴室は、
温泉を堪能するためにあえて雰
囲気を変えたのだとか



本誌初の試み!? の入浴シーンは、仲良し3人兄弟の笑顔とともに



「今はお布団派なんです」と
奥さま。手間を惜しまなけれ
ば空間を広く使えるメリットも

屋根に沿う美しい窓のカッティ
ングが[SORAデザイン]の設
計力と施工力の高さを物語る



家族の絆を深めてくれる
大好きな家で過ごす時間



1階部分にリビングと水回
り、2階部分に個々のスペース
を設けたN邸。…のはずであ
るが、賑やかな3兄弟にとつて
はN邸は3階建てだとか。
それは、子どもたちにとって格
好の遊び場である子ども部屋
のロフトスペースを指し示す。取
材班が「ロフトを見せてもらっ
てもいい?」と訪ねると、兄弟
は「まだ片付けてないけど、い
い!」と大慌て。ゆるやかに繋

がる空間が多いN邸だが、ご夫
妻もこのロフトだけはあえて一
切足を踏み入れることはしな
いのだとか。チャリと見えたス
ペースには、ブロックで作ったロ
ボットやアニメのキャラクターが
見張り番のように並んでいた。
奥さまに「3人の子育ては並
大抵ではないのでは?」と尋ね
ると「近所のおじさんが言っ
てくれたんです。家族の中でコミュ
ニケーションをしっかり取れてい
れば、社会に出ても大丈夫。
だから兄弟喧嘩もいことなん
だよ、つて。私たちは泣き声を
聞いて本当に大人の手が必要
な時以外は、本人たちに任せ
ているんです。」「SORAデザ
インは、そんな私たちの価値観
や細かい要望も聞いてないよう
でちゃんときき入れて形にし
てくれているのがすごいところ。
おかげで家族の誰にとっても居
心地のいい新居ができました」。
そう語る奥さまの表情は終始
穏やか。子育てに、毎日のお勤
めにと忙しい日々を過ごしな
がらも、N邸に響くのは今日
も明るい笑い声だ。